

「薬剤師：認知症気づきの芽シート」

1

R1.11.21 時点 作成：(久留米三井薬剤師会、くるめ地域支援センター)

来局された高齢者に以下の気になることはないですか？



気になる点 ※裏面にその他の気づき例有

- ・受診間隔や来院曜日がばらばらであるが、自覚がない。
- ・いつも同じ服装や着方がおかしい。(季節に合っていない、衣服の汚れが目立つなど)
- ・もらった薬が足りない、無くなったと薬局へ来局される。
- ・残薬を持参することが増えた(処方薬は変わらないが管理できなくなり一包化となった)
- ・処方された内服の説明(飲み方や効果・副作用など)をするが、
本人が理解できていない様子がある。
- ・お会計の時にお札ばかりで支払い、財布の中に小銭がたくさんたまっている。



2

上記のチェックシートに該当する高齢者がいらっしゃったらまずは、

『困っていることや不安なことは何か(いつ頃からそう感じているのか)』

話しかけてみましょう。

地域包括支援センターに「繋ぐ」ことを意識して以下の情報を高齢者、家族に聞きましょう。

- ・家族と同居か(独居や高齢世帯か等)
- ・介護保険認定の有無
- ・介護支援専門員・地域包括支援センター等支援者の有無



3

高齢者、家族に話を聞き地域包括支援センターの紹介^{注①}をし、「繋ぎ」に対しての意向を

確認しましょう。(注①：地域包括支援センター一覧)

その他の気づき例

(あくまでも一例です。薬局で対応する認知症ではないかと思われる高齢者の様子は他にも多くあると思います。薬局内で共有し認知症の早期発見を目指しましょう。)

- ・ 怒りっぽくなる。イライラしている。
- ・ 女性の場合、ノーメイクになる
- ・ 何度も自動ドアの開く位置が分からなくなる。
- ・ 外出の回数が減ってきている。
- ・ 同じ話を繰り返す（質問や過去の出来事等）
- ・ 薬に対して興味関心がなくなる（薬の管理については誰に任せてるからほとんど分からない等）
- ・ 何度も自動ドアの開く位置が分からなくなる。
- ・ 外出の回数が減ってきている。